

京都外国語大学ラテンアメリカ研究センター講演会

講師：ペドロ・ピタルチ

(マドリッド・コンプルテンセ大学地理歴史学部教授)

「無限の魂：メキシコ南部マヤ族における『人』に関する存在論」

この度京都外国語大学ラテンアメリカ研究センターでは、マドリッド・コンプルテンセ大学教授ペドロ・ピタルチ教授の講演会を開催いたします。

ペドロ・ピタルチ先生は、1998年から現在に至るまで、メキシコ・チアパス州のツェルタル語を話す先住民社会の宇宙観、人間や身体に関する概念等の研究を行ってこられた国際的にも著名な人類学者で、英語やスペイン語で書かれた論文、著書を数多く発表してこられました。今回の講演ではこの先住民社会における『人』をめぐる概念についてお話しいたします。彼らは『人』が多くの魂を持っており、これらは身体の中（心臓）にあるばかりでなく、同時に森や空、水の中に棲む動物や、大気現象などとして世界に遍く存在していると考えています。したがって、『人』はその数に応じたアイデンティティを持つばかりでなく、さまざまな場所に同時に棲んでいるとみなしているのです。人間は、人間であるばかりか、他の多くの種類の存在から成り立っているというわけです。メキシコチアパス州に住む先住民の『人』に関する概念に関して興味深い解釈を伺えるとともに、私たち日本人の参照点としても面白いと思います。

万障お繰り合わせの上、ぜひご出席ください。

日 時： 2023年9月28日（木）17時30分～19時00分

講演形態：Zoomによるオンライン

使用言語：スペイン語（通訳なし）

参加費無料／事前予約要

(以下QRコードもしくはURLよりお申込みください)



<https://forms.gle/6m1UMi52QkAv5V6t9>